

## 2012年度 「中国 大連・東北部通信」 NO.4

駐大連北九州市経済事務所

◆所長 田代 昇三 ◆副所長 辛川 公浩

◆副所長 呂 俐 ◆主任 劉 振傑

田代 E-mail: yumeiyasu4411@yahoo.co.jp

### Dynamic Golf Dalian 開店

#### 大連初となる日系シミュレーションゴルフ場オープン!

5月27日、当事務所のある森ビル裏にある、錦華銀座にて Dynamic Golf Dalian(中国名:戴睿米克高尔夫球大连)のオープンセレモニーが行われた。

当社は北九州市に本社を置く、世界一のタクシー保有台数を誇る第一交通産業株式会社が大連に創設した、第一交通(室内)ゴルフ有限公司による運営である。先述のオープニングセレモニーには、日本より田中亮一郎社長、新井治夫取締役も出席され、盛況化のもとに開催された。



開会式(田中社長、大連ゴルフ協会他)



レセプション代表挨拶(大連事務所)

当ゴルフ場は広さ約 1,000 m<sup>2</sup>、全4階構成となっており、個人用シミュレータが7台、個室は2Dシミュレータ設備が1室、3Dシミュレータ設備が2室の計3室、加えてパター練習場までを備えたシミュレーションゴルフ場である。大連市内では現在18カ所のシミュレーションゴルフ場があるが、その

中でも最大規模のものである。個人用ではラウンドだけでなく練習モードも備えており、将来的にはプロゴルファーを招聘し、レッスンを受けられるようにする予定である。全くの未経験者から、玄人まで幅広く受け入れられる設備が揃っている。いうまでもないが、勿論大連一きれいなゴルフ場である。



店内の様子（左：個人用 右：団体用個室）

元来ゴルフというものは「金持ちの遊び」というイメージがある。それはここ中国でも同様で、ゴルフをしている人々は俗にいう富裕層の人間が大半であり、未だ庶民のスポーツとまでは言えない。しかし、近年の中国の高度成長により国民の生活に余裕ができたこともあり、中国におけるゴルフ人口は上昇傾向にある。そのような中で、シミュレーションゴルフ場も将来性のある事業の一つと言えるだろう。

しかし、我々日本人、とりわけ九州の人間にとって、シミュレーションゴルフというのは馴染みのないものである。なぜならゴルフは一年中外でできるものであり、室内にこもる必要はないからだ。しかしここ大連ではそうはいかない。というのは、大連の緯度は日本の仙台市とほぼ同じであり、かつ海沿いということもあり、冬場は日中気温がプラスになることはない。そのため、大連には五カ所のゴルフ場があるものの、すべて12月初頭から3月中旬くらいまではクローズしてしまう。そこで需要があるのがシミュレーションゴルフ場であり、夏場は外で、冬場は中で、というのが大連におけるゴルフスタイルとなっている。そのため、中国、特にここ東北地区ではシミュレーションゴルフは我々の想像以上に浸透していると言える。

中国よりも早い段階でシミュレーションゴルフが浸透していた国がある。日本の隣国である韓国である。そのためか、大連のシミュレーションゴルフを経営しているのは韓国人が多い。そして日本人経営の店は今までなく、今回の Dynamic Golf Dalian が初の試みとなる。

中国における日本のサービスへの信頼感が高い。今まで中国式、韓国式のサービスしかなかったところに日本式のサービスを提供できる、これは一つの長所であり、逆に短所でもある。客の期待感による集客が見込める反面、客のサービス要求の水準が高くなることも否めない。

今までのサービス業における中国進出について考えてみると、基本的には飲食業での進出でありエンターテインメント事業における進出はほぼ皆無である。田中社長が来大された際、「今回の事業は第一交通という会社にとって、初めての業態での進出です」と言われていたが、筆者が記憶する限り、今回のようなエンターテインメント事業での進出は大連でも初めてなのではないだろうか（少なくとも北九州

市の企業では初である)。

中国でサービス産業は、第十二次五ヵ年計画の中で産業構成の最適化・高度化における重点分野と位置づけられており、消費市場としての注目が急速に高まっている。そのような中での今回のオープンは今後の試金石となるのではないだろうか。当事務所としても微力ではあるがサポートをしつつ、今後の隆盛を見守らせていただければと思う。

